

違反処理支援アプリの開発について

守口市門真市消防組合（大阪府） 後藤 祐矢

1 違反処理における課題

避難施設における物件の除去等、重大な消防法令違反を覚知した場合は、速やかに違反処理へ移行しなければならないが、現場で措置命令の適否を判断しなければならない違反処理については、査察担当者（以下「担当者」という。）にとって不安や迷いが生じることが多い。そのため、違反処理の経験が少ない担当者は、自信を持って権限行使をすることができない現状がある。特に、製造所等の緊急使用停止事案については昼夜問わず発生し、日頃、違反処理に携らない警防要員が初動対応に当たることが多く、適切な権限行使を行うことができなかった場合、行政の不作为になることが懸念される。

そこで、現場で措置命令を発動する際、担当者を支援することができるスマートフォン及びタブレット端末向けアプリケーション（以下「アプリ」という。）を開発することで、担当者が自信を持って権限を行使することができるのではないかと考察した。内容については、現場で緊急の判断を要する物件除去のほか、製造所等の緊急使用停止、危険物の無許可貯蔵等に対する3つの措置命令について、違反処理標準マニュアルを基にフローチャートを作成した。他にも、質問調書作成時の補助、違反処理に関する資料の閲覧、放置された物件や危険物などの数量を記録する際に活用するメモ機能、危険物の指定数量一覧表等の機能を有した。これにより、スマートフォン1台を立入検査場所に持ち運ぶことで、これまで担当者が立入検査に携行していた紙の資料を最小限にすることが可能となり、担当者への負担軽減が可能になる。

2 アプリについて

プログラミングソフトを使用して、アプリケーションを作成。トップ画面下にタブを作成し、担当者が利用したい機能を選択することができるようにした。機能については次のとおり。

(1) 違反処理フローチャート

次の措置命令に関する内容をフローチャート化した。

ア 物品除去（法第5条の3第1項）

イ 製造所等の緊急使用停止（法第12条の3第1項）

ウ 危険物の無許可貯蔵に対する措置（法第16条の6第1項）

「はい」又は「いいえ」形式で命令発動要件を選択し、「はい」選択時は命令発動時の注意事項や必要な事務処理等を確認することができる。これらの違反処理は現場で即時判断が求められるため、フローチャートを確認しながら処理を行うことでミスを減らし、かつ自信を持って措置命令を発動することが可能となる。確認できる項目は次のとおり。

- ・名あて人の特定要領
- ・写真撮影要領
- ・口頭命令時のポイント
- ・標識の作成及び設置要領
- ・履行確認時の留意事項
- ・自認書の作成要領（緊急使用停止、無許可貯蔵等の危険物に対する措置命令時のみ）

(2) 質問調書作成要領

質問調書は現地で手書きにて聴取する事が多いため、あらかじめ聴取する内容をまとめておく必要がある。そのため、質問調書作成例を見ながら、容易に質問調書を作成することができるようにした。

他にも、署名若しくは押印を拒否された場合の対応方法等をまとめ、質の高い質問調書作成を目指した。

(3) 違反処理に関する資料の閲覧

インターネットブラウザを起動し、査察、違反処理に関する資料を閲覧することができる。これまで、検査時に紙に印刷して持ち運んでいた各種規程等を省略することができ、担当者の負担軽減が期待できる。

さらにアップデートを図ることで、各消防本部の内規で定める各種通知関係など違反処理に関する全ての資料をアプリ内で閲覧することができる。

(4) メモ機能

現場で聴取した内容を記録することができ、名あて人をはじめ、危険物や物件の数量を記録する際に活用できるようにした。また、保存機能付きを有することで誤って消去することを防ぐことができ、検査時にメモを持ち運ぶ手間を省略することができる。

(5) 指定数量一覧表

指定数量倍数を算定する際、本機能とメモ機能を併用することで倍数算定をスムーズに実施することができる。

今後、さらにアップデートを図ることで、品名、数量を入力すると倍数が自動で計算できる機能を有することができる。

3 アンケートの実施

作成したアプリをテスト配布しアンケートを実施した。対象者は違反処理を日常的に行う毎日勤務の予防要員（17人）とし、期間は1台につき7日間とした。アンケート内容については次のとおり。

問1 使い勝手はどうか。

・よい（13人） ・悪い（0人） ・どちらでもない（4人）

問2 本アプリを本格運用した場合、法第5条の3命令など現地で違反処理の判断をする際に有効である。

・はい（16人） ・いいえ（0人） ・どちらでもない（1人）

問3 本アプリのような消防業務に関するアプリがリリースされ、そのアプリが有料であった場合、あなたはどうしますか。

- ・購入する（5人） ・金額次第で購入する（9人）
- ・金額に関係なく、有料ならば必要ない（3人）

4 費用

アプリを正式にリリースした場合、無料で誰でもダウンロードし利用することができる。リリースに際しては、年1万円程度のランニングコストとアプリの管理（バグ修正等）が必要となるため、本アプリの有効性等を実証し、実用化に向けて取り組んでいきたい。

5 まとめ

私が本アプリを開発した理由は、適正に命令権限を行使できていない現状を打開したいからである。違反対象物に対しては、積極的に違反処理を実施しなければならないが、一方で担当署所において違反処理に対する否定的な意見は少なからず存在し、事務量の多さや、命令発動時の専門的知識、訴訟リスクを考えるために、権限行使をためらってしまう現状がある。そして、これらの問題は決して限られた消防本部の問題ではなく、全国どの消防本部においても共通の課題であると認識している。全国的に違反是正を積極的に行っている状況の中で、全ての消防本部が取り残されることなく違反処理に取り組むことが重要であり、その結果が国民の生命、身体及び財産を保護することにつながると私は考える。そのためには、一消防本部のみで活用できるツールではなく、全国の担当者が使用することができる時代に即したツールが必要であると考え、私はアプリの開発に着手した。

違反処理を実施する際に、意識しなければならないことが一つだけある。それは、

「違反処理は消防のためにするのではない。市民のためにやる。」

この信念を胸に、全国の担当者全てが違反処理に取り組むことができるようになることを切に望む。

違反処理 支援ツール

図1 アイコン

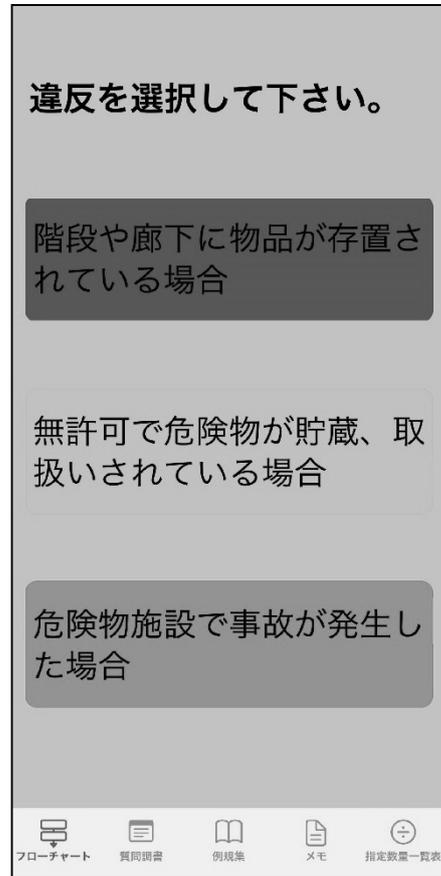


図2 トップ画面



図3 トップ画面下部の拡大

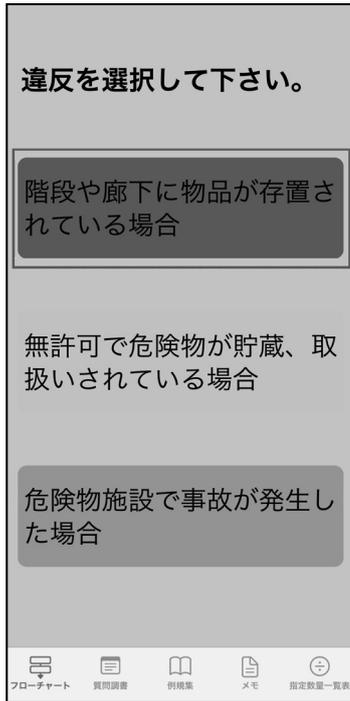


図4 5条の3命令選択画面

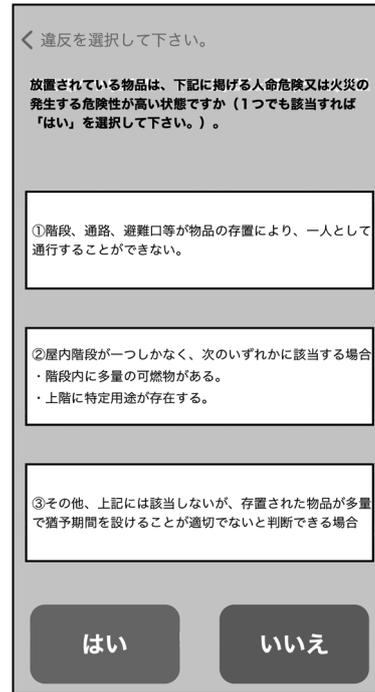


図5 5の3命令発動要件①

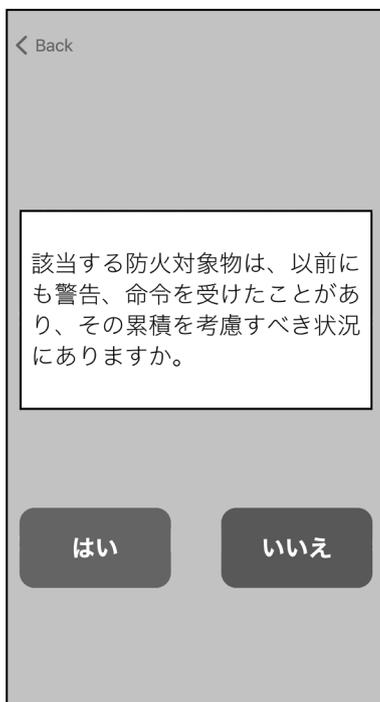


図6 5の3命令発動要件②

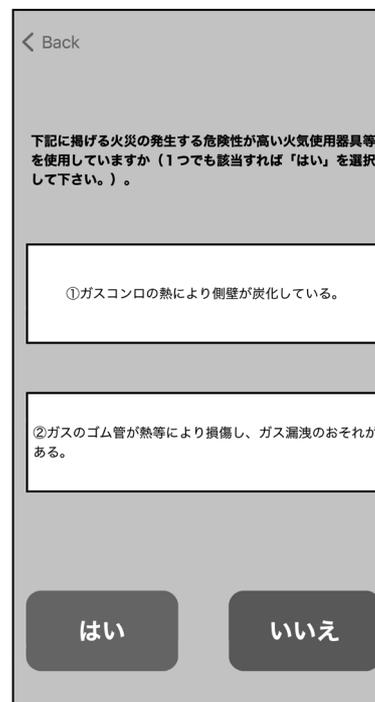


図7 5の3命令発動要件③

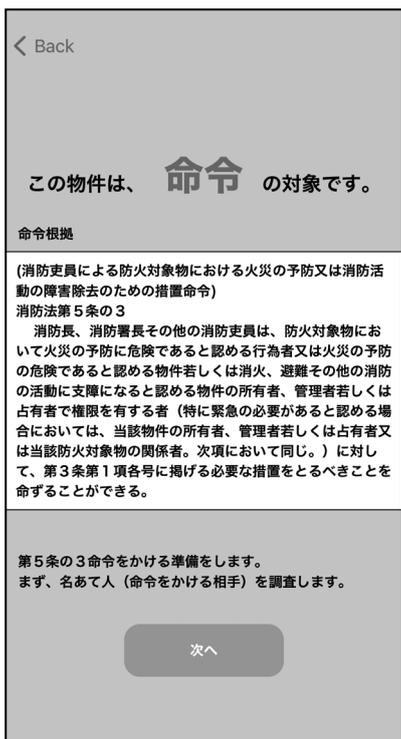


図 8 5 の 3 命令該当



図 9 写真撮影要領

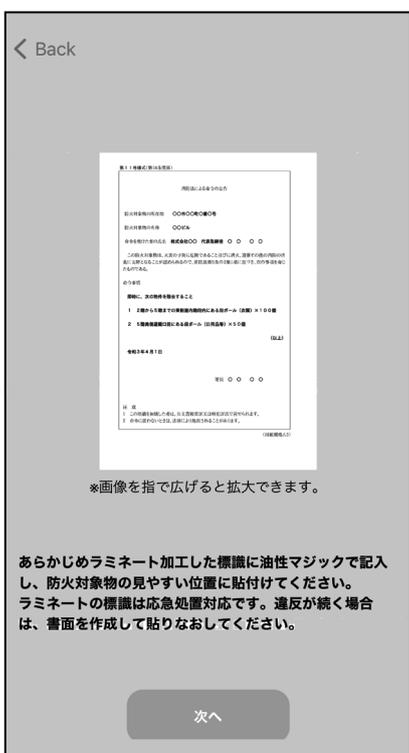


図 1 0 標識の作成要領

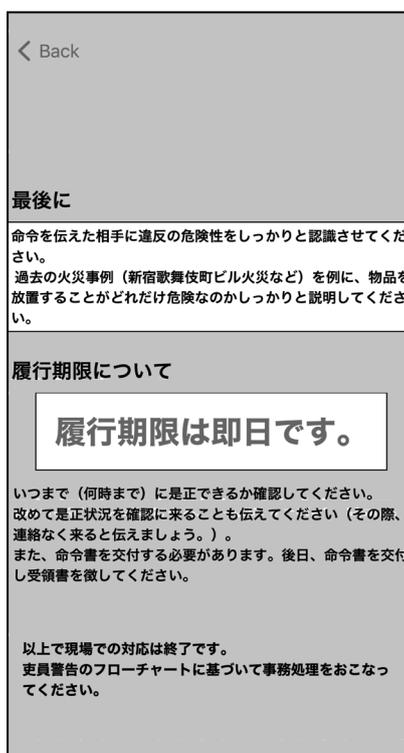


図 1 1 履行期限について

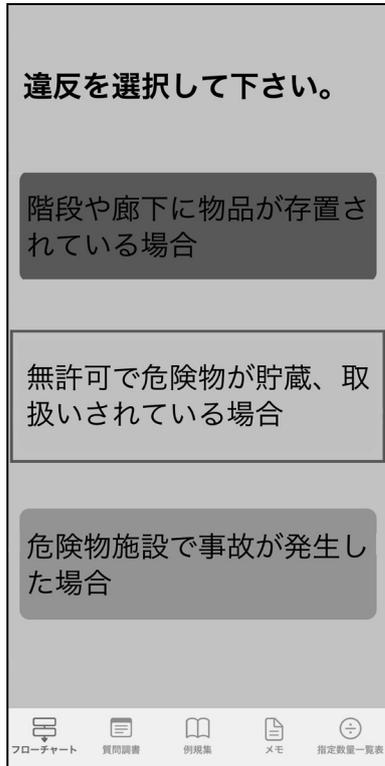


図 1 2 16 条の 6 命令選択画面

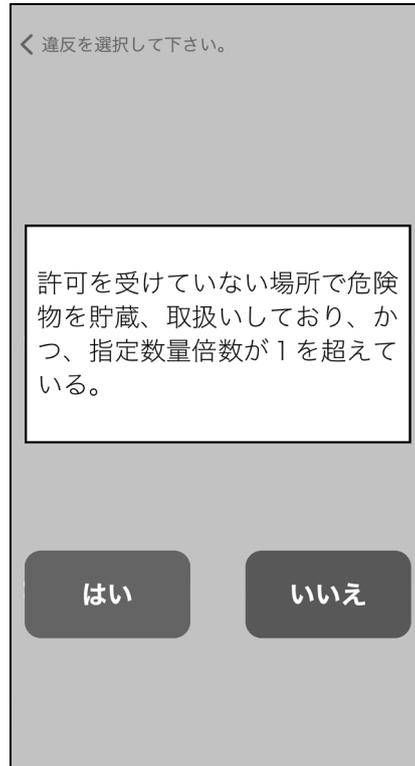


図 1 3 16 条の 6 命令発動要件

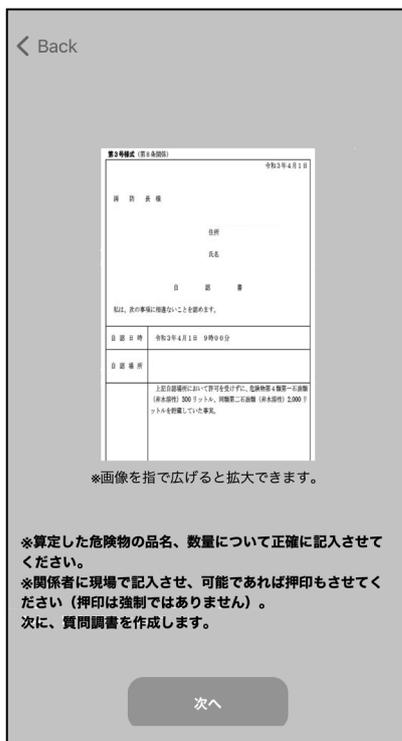


図 1 4 自認書の作成要領

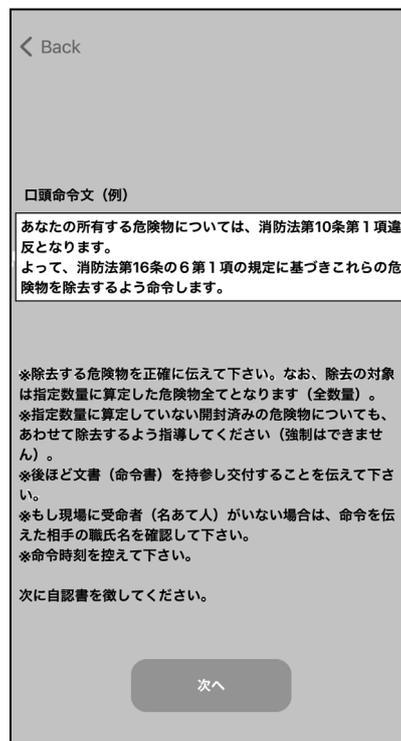


図 1 5 口頭命令の留意事項

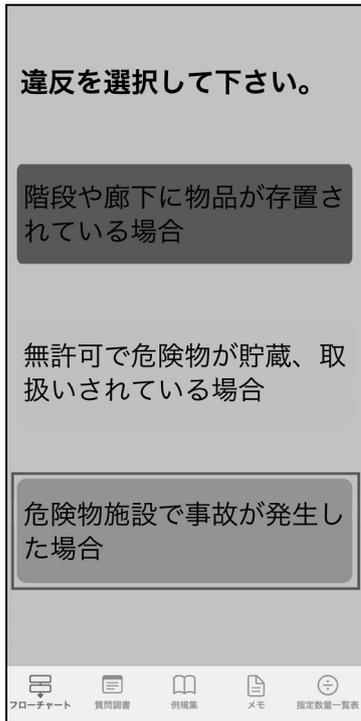


図 1 6 1 2 条の 3 命令選択画面

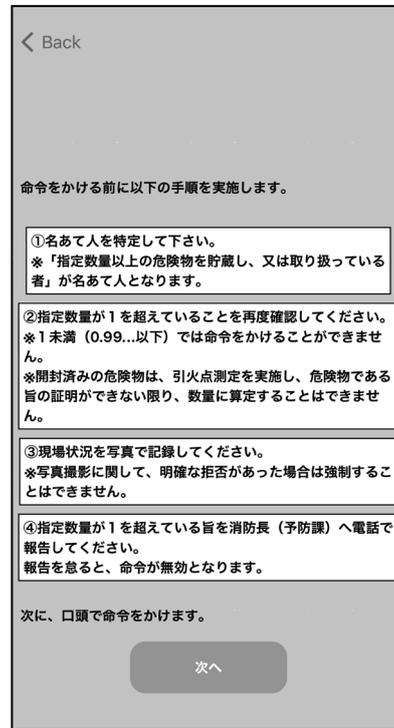


図 1 7 留意事項

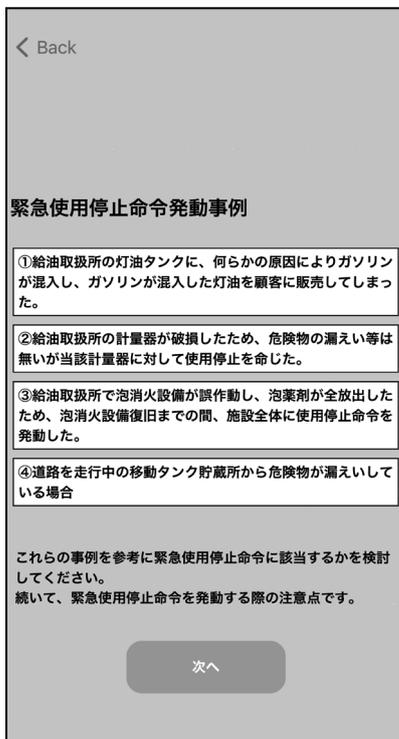


図 1 8 発動事例

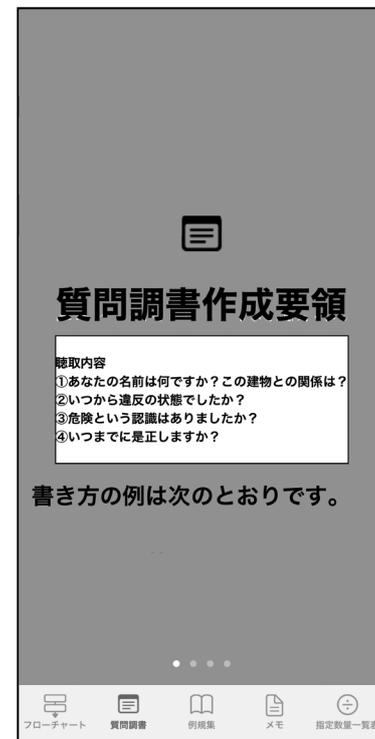


図 1 9 質問調書作成要領①

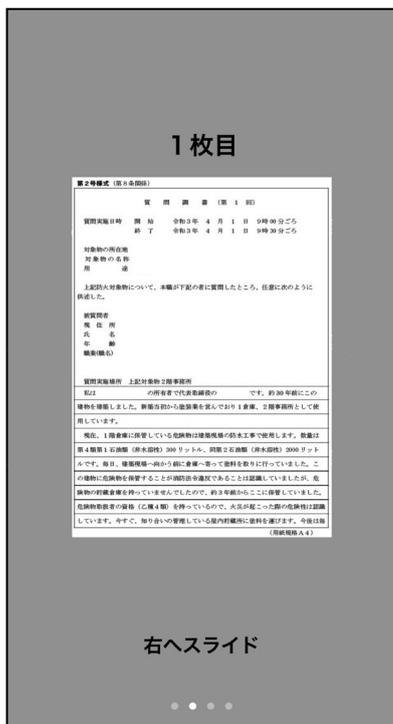


図 2 0 質問調書作成要領②

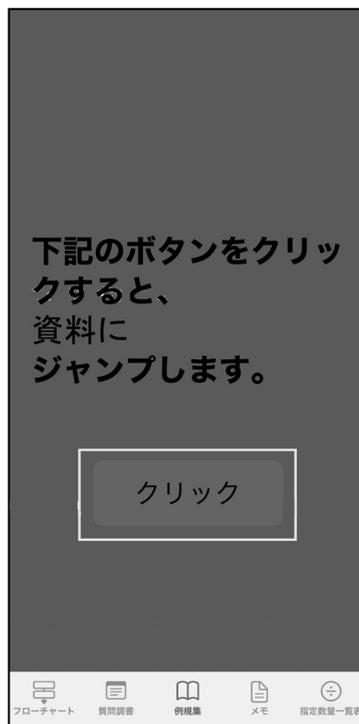


図 2 1 関係資料閲覧

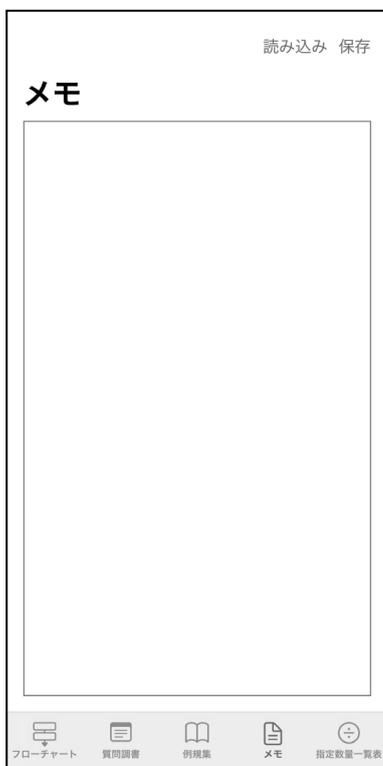


図 2 2 メモ機能



図 2 3 指定数量一覧表